

TS-M2M-0004v3.11.2

サービス層 API 仕様（共通部）

Service Layer Core Protocol

アブストラクト：

本仕様書は、oneM2M 準拠のシステム、アプリケーション、および/もしくは他の M2M システムのための通信プロトコルを規定している。また、本書では、oneM2M で定義された参照点をサポートするための共通のデータフォーマット、インタフェースおよびメッセージシーケンスを規定している。

目次：

1 章 所掌範囲（目的）

本仕様書は、oneM2M 準拠のシステム、アプリケーション、および/もしくは他の M2M システムのための通信プロトコルを規定している。また、本書では、oneM2M で定義された参照点をサポートするための共通のデータフォーマット、インタフェースおよびメッセージシーケンスを規定している。

2 章 引用文献

3 章 定義、略語と頭字語

4 章 表記法

5 章 プロトコルの設計原理および要求条件

M2M プロトコルに必要な設計原理および要求条件を規定する。

6 章 oneM2M プロトコル/API 概要

oneM2M 準拠の M2M プラットフォームシステムが通信するためのメッセージフォーマットおよび手続きを規定する。

7 章 oneM2M 手続き

フォーマットや手続きの概要などの前提条件を規定する。

8 章 データ転送におけるプリミティブ表現

XML ドキュメント、JSON テキストまたは CBOR データフォーマットでの、リクエストおよびレスポンスプリミティブを定義する。

付則 A（規則） Mch の課金用 Diameter へのバインディング

Mch の課金用 Diameter へのバインディングについて規定する。

付則 B（規則） 3GPP MTC とのインタワーク

3GPP MTC とのインタワークについては、oneM2M TS-0026 3GPP Interworking を参照してください。

付則 C（情報） XML の例

XML での記載例を示す。

付則 D（規則） <mgmtObj>リソース特化

<mgmtObj>リソース特化のための構造および手続きについて規定する。

付則 E (情報) リソースへアクセスするための手続き

リソースへアクセスするための手続きについて明記する。

付則 F (情報) oneM2M リソースタイプ XSD のためのガイドライン

XML スキーマ定義生成時のガイドラインを明記する。

付則 G (規則) 位置要求

<locationPolicy>の locationSource が Network Based に設定された場合の位置要求について規定する。

付則 H (規則) CMDH メッセージ生成

CMDH メッセージ生成について規定する。

付則 I (情報) AE および CSE コードにおける XSD ファイルの利用ガイドライン

oneM2M によって開発された XSD ファイルの利用ガイドラインを示す。

付則 J (規則) <flexContainer>リソース特化

<flexContainer>リソース特化に関する定義を規定する。

Summary :

The present document specifies the communication protocol(s) for oneM2M compliant Systems, M2M Applications, and/or other M2M Systems. The present document also specifies common data formats, interfaces and message sequences to support reference points(s) defined by oneM2M.